

ささしまサポートセンターの活動の取材を希望されるマスメディアの方へ

NPO 法人ささしまサポートセンター

当団体の活動に関心をもっていただきありがとうございます。ホームレス問題の解決のためには、市民の正しい理解が不可欠です。市民的理解の広がりのためにマスメディアの果たす役割はきわめて大きく、私たちとしても、正しく優良な報道がなされることを期待しています。

一方、中には残念ながら、当事者のプライバシーが十分尊重されなかったり、ホームレス問題への偏見を助長するような報道もあります。私たちとしても、取材に協力する以上、取材対象となる当事者や報道の受け手である市民に対する責任があり、取材に当たってご理解いただきたいことやご留意いただきたいことを提示させていただきます。

私たちの立場をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

1 ささしまサポートセンターの活動理念

当団体は、野宿者をはじめとする生活困窮者がその人らしい生活を営めるよう、個々に寄り添いながら医療相談や生活上の支援等を行い、誰もが地域で共に生きられ、居場所をもてるような社会を目指して活動することを目的として日々の活動を行っています。この目的に反する報道のための取材には協力できませんので、ご理解をお願いいたします。なお、当団体ホームページには、当団体の活動の概要や理念が書かれていますので、事前にご一読ください。

2 プライバシーの保護

報道機関が取材対象のプライバシーを保護することは当然のことと思いますが、ホームレス状態にある人たちの生活歴を考えると、通常よりも慎重な配慮が必要となります。過去には、テレビ報道で顔を映さずに放映したにも関わらず、番組を観たヤミ金業者が追いかけてきたという事例もありました。

ささしまサポートセンターとしては、原則として、本人の了解の有無にかかわらず、匿名報道および取材対象者を撮影した写真・映像の加工処理を強く要望します。また、本人がいったん取材を了承したにもかかわらず、後で拒否するようなことがあった場合は、取材を中止して報道もしないようお願いします。

報道の方法については、最終的には報道機関と対象者との個別協議によると思いますが、取材協力者としてのささしまサポートセンターの立場や要望を考慮していただくようお願いいたします。

3 当事者との信頼関係

私たちにとって、当事者との信頼関係は最も重要な活動基盤です。取材対象となっている当事者はもちろん、取材対象ではない他の当事者との信頼関係も私たちにとっては崩すことのできないものです。取材協力の結果、私たちと当事者との信頼関係が壊れるようなことがあっては本末

転倒ですので、以下の点にご留意ください。なお、事務所での相談場面の取材については、留意事項が別にあります。

① 取材対象者以外の当事者・支援者にも撮影の了解を得ること

取材対象となる当事者以外の方が映像・写真に入りこむことはできるだけ避けてください。やむを得ず入りこむ場合は、事前に本人の了解を得てください。なお、これは当事者だけでなく支援者も同様です。

② 撮影場所の管理者への了解を得ること

例えば炊き出し生活・医療相談の場所は、ささしま共生会による炊き出し会場です。ささしまサポートセンターの活動スペース以外の場所を撮影する場合は、管理者への事前の了解を得ておいてください。

③ 「カメラの存在感」に可能な限り配慮すること

当事者にとって、カメラ(特にテレビカメラ)は、撮影しなくても存在するだけで圧迫感を与えます。必要のない撮影はしないことはもちろん、目に付きやすい場所にカメラを置かない、カメラはできるだけ小さいサイズのものを使用するなど「カメラの存在感」にできるだけ配慮していただくようお願いします。

取材申し込みの手続きについて

以上のことをご理解いただいた上で、取材を申し込まれる場合は、「取材申込書」に必要事項を記入の上、ささしまサポートセンター事務局まで送付してください。なお、「取材申込書」はささしまサポートセンターのメンバーにも回覧させていただきますのでご了承ください。

申込書提出後、担当者と取材内容や方法に関する打ち合わせを行ってください(打ち合わせの日程については担当者から連絡があります)。また、取材現場では、担当者ないし現場責任者の指示に従ってください。
